

トップの戦略と現場の実行を直結させる

トヨタ式「方針管理」導入支援

経営計画を立てたが、現場の動きが変わらない。部門間の連携が悪く、全社の目標が達成できない。

計画(Planning)と実行(Doing)の間に横たわる深い断絶は、多くの経営トップを悩ませる普遍的な課題です。当事務所では、世界トップクラスの製造業で進化を遂げてきたトヨタの「方針管理」を中小企業向けに最適化し、全社員が同じ方向を向いて自律的に動く「強い組織づくり」を伴走支援します。

方針管理とは

双方向マネジメント

経営陣が「なぜ(Why)」その目標が必要を示し、現場が「どのように(How)」実行するかを提案する双方向の仕組みです。

北極星の共有

長期ビジョン(真の北極星)を全社で共有し、トップダウンの一方的なノルマ管理とは根本的に異なるアプローチを取りま

こんなお悩みをお持ちの企業様へ

- 1 「経営計画が現場の日常業務に全く反映されない」
従業員が自分の業務と会社の目標の繋がりを理解できていない企業に有効です。
- 2 「目標が多すぎて、リソースが分散している」
ブレークスルー目標を少数(5つ以下)に厳選することで、ヒト・モノ・カネの集中が実現します。
- 3 「社員が指示待ちで、自ら問題解決に取り組まない」
目標の「Why」と「How」を上下で擦り合わせる対話プロセスで内発的な動機付けを生み出します。
- 4 「ミスや目標未達が隠蔽され、正しい状況が上がってこない」
失敗を学習の機会と捉え、継続的な問題解決を行う組織文化の構築を支援します。

本コンサルティングの特長

- 1 キャッチボールによる納得感と実行力の劇的向上
上下階層・部門間で目標を往復させる対話プロセスにより、現場の従業員が戦略の共同立案者となり、エンゲージメントと説明責任が飛躍的に向上します。
- 2 A3 マネジメントを活用した「自律的問題解決集団」の育成
A3 用紙 1 枚に背景から 実行計画までを論理的にまとめるプロセスを通じ、現場リーダーが自ら問題を特定・解決する思考力を鍛え上げます。
- 3 経営戦略・人事労務・IT インフラの三位一体による定着支援
現役時代に経営戦略課長として元トヨタの役員から直伝で伝授されたノウハウを元に、診断士・社労士・ネットワークスペシャリストとして多角的な視点で方針管理の定着を強力にサポートします。

メトロポリタン診断士・社労士事務所

代表 門馬 直樹

〒169-0075

東京都新宿区高田馬場 3-23-2 内藤ビル 403

新宿オフィス・サポート内

電話 03-5332-8661 FAX 03-5332-8662

携帯 070-5593-5607

✉ info@metro-office.jp